



【子供の皆さんへ】

たくさんの方が関わってできた本は「なるほど！」や「すてき！」が詰ま^つっていて、みんなにいろいろなことを教えてくれます。

本よりも面白^{おもしろ}いものは、他にあるかもしれ^{ほか}ないけれど、楽しくて、ためになる読書をたくさんしてください。

＜高校生の皆さんへ＞

高校生の皆さん、読書習慣がある生徒は、読書をしない生徒に比べ文章読解力が高い傾向にあるという調査結果が出ていることを知っていますか。勉強や部活動、他にも興味・関心のあることが多くあり、読書に費やす時間は限られていると思いますが、楽しみながら様々な世界や人生に触れ、自分の未来を切り開く、そんな読書に親しむ機会を設けてみませんか。

【大人の皆様へ】

読書は単なる娯楽ではなく、子供がより良く成長し、立派な社会人となるために大切なものとして子供に与えられるべきものです。それと同時に大人の皆様にとっても、新たな生きる力を得る糧として、心の癒やしとして必要なものではないでしょうか。「子供は親の背中を見て育つ」と言います。親だけではなく、大人のやることは子供のやることにつながっています。大人も時間を作って本を読み、本をテーマに子供と話をしてみませんか。

＜読むことに困難のある子供に関わる大人の皆様へ＞

本を読むことに対する様々な困難に関係なく全ての子供たちは、新しいことを知りたい、感動を味わいたいなど、それぞれの理由で読書を求めています。読む、聞く、触れる、楽しみ方のコツを伝えるなどの方法で、一人一人の子供に応じた誰もが楽しめる読書を目指し、マルチメディアD A I S Yの整備等できる限りの支援を用意していきます。皆様も子供たちの内なる声に応えてみませんか。

＜日本語以外を母語とする子供に関わる大人の皆様へ＞

二つ以上の言語に触れる子供は、言語体験が豊かになり、成長に良い影響を与える可能性を持っています。読書は、日本語以外を母語とする子供の言葉の発達に不可欠であり、集中して聞く力や、想像力も育てます。大人の皆様の得意な言語（母語）で書かれた本を読んであげましょう。読書を通じて、子供と大人のコミュニケーションの時間を作ってみませんか。

子供たちが、本のある暮らしを通じて、心豊かで、健やかに成長していけるよう、この計画を基に皆様で力を合わせて歩んでいきましょう。